

### 3. NIPPONDATA2010 オンライン調査実施検討ワーキンググループ

研究分担者 渡邊 至 国立循環器病研究センター予防医療部 特任部長  
研究協力者 高嶋 直敬 京都府立医科大学大学院医学研究科・地域保健医療疫学 教授  
研究協力者 原田亜紀子 滋賀医科大学 NCD 疫学研究センター医療統計学部門 准教授  
研究協力者 岡見 雪子 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 特任助教  
研究分担者 門田 文 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 准教授

#### 【目的】

NIPPONDATA2010 では、昨年度まで、毎年、研究対象者の（循環器疾患をはじめとした）疾病の発症状況や生活状況について、郵送や電話により追跡調査を実施してきた。国勢調査（2020年）や雇用動向調査（2021年）等、最近の公的調査においてもオンライン調査が導入されており、本ワーキンググループでは、本研究の 2022 年度追跡調査において、オンライン調査を試験的に実施し、今後の実施可能性や課題について検討することを目的とする。

#### 【方法】

##### （1）調査形式

NIPPONDATA2010 の研究対象者は年齢層が広く、インターネットや関連する IT デバイスへのアクセシビリティにも個人差が大きいことが予想されたため、国勢調査（2020年）と同様に、従来の紙調査票とオンライン調査を併用するハイブリッド形式とした（図1）。具体的には、従来の紙調査票とともに、オンライン調査用のアクセス先の URL や QR コード・アクセス ID ・パスワードなどを記載した案内用の説明文書を送付し、転居者など一部を除き、研究対象者が自由に選択できるようにした（図2・図3）。

##### （2）オンライン調査用アンケートシステムの構築

オンライン調査用アンケートシステムについては、システム構築が可能と考えられた3社からヒアリングを行い、データのセキュリティをはじめとした仕様、研究進捗状況のフィードバックの即時性、費用等の観点から、最終的に NTT コム オンライン・マーケティング・ソリューション株式会社が提供する「NTT コム リサーチ」のアンケートシステムを採用し、スマートフォンやタブレット、パソコン等で回答可能なオンライン調査用アンケートシステムの業務委託契約を締結した。

図 1

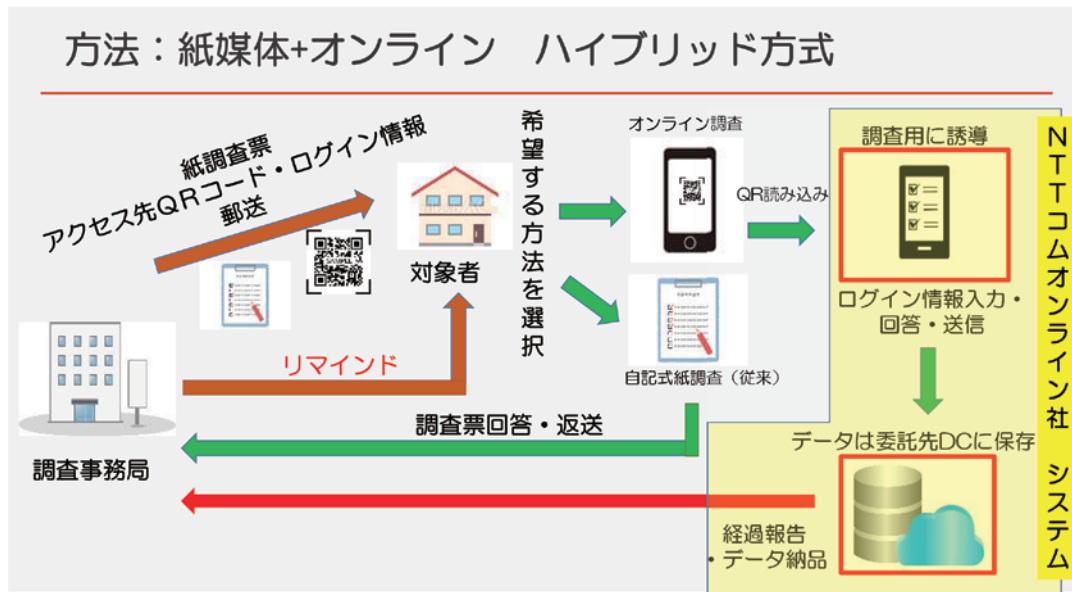


図 2

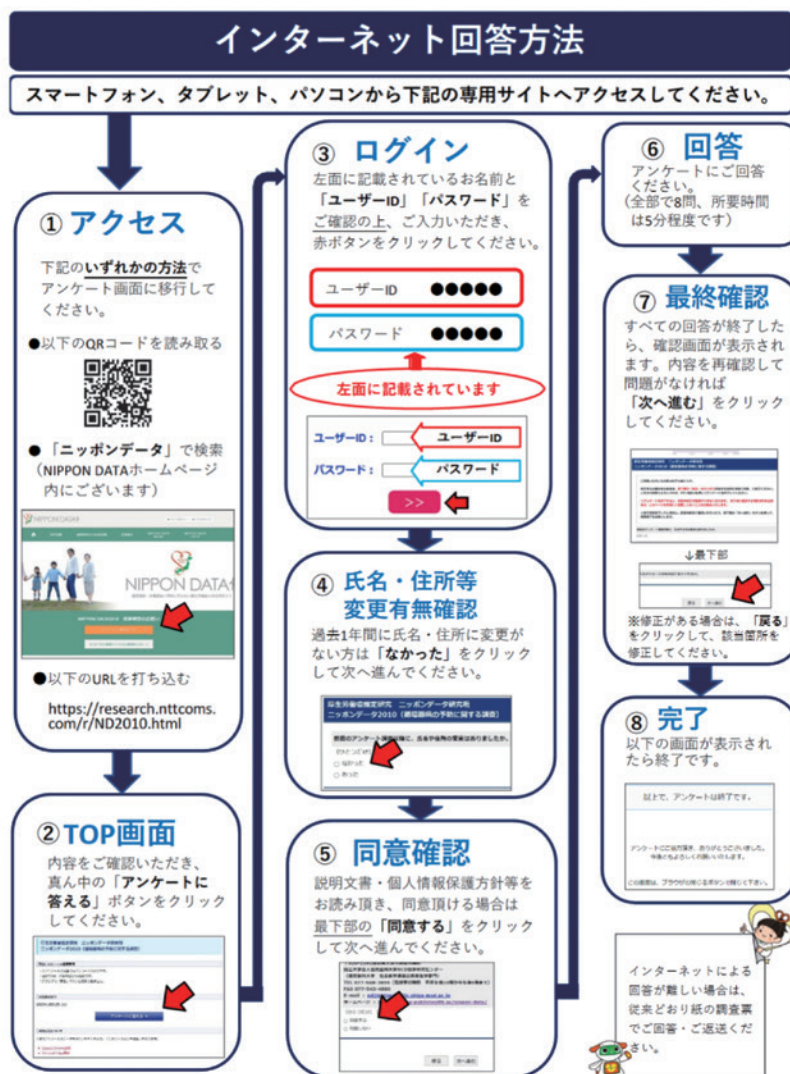


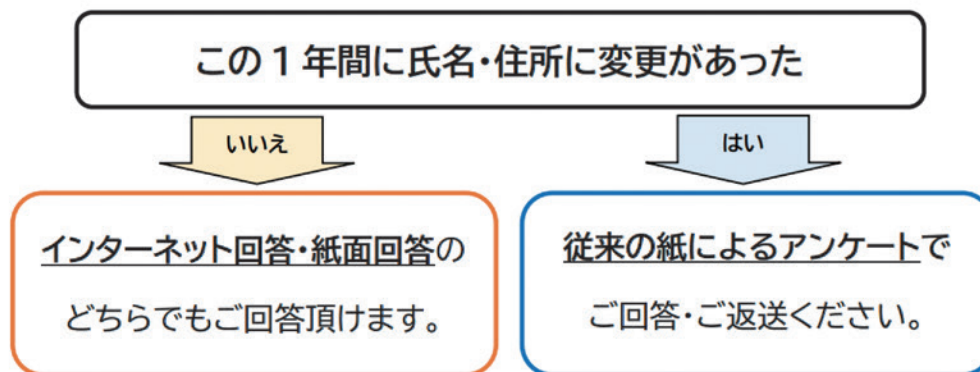
図3

## インターネット回答 Q&A



Q. 従来の紙による回答かインターネット回答かどちらを選択するの？

A. 下の図を参考にご選択ください。



(3) オンライン調査実施に付随する調査の変更点と倫理審査委員会の承認

オンライン調査用のアンケートについては、従来の紙調査票の項目に加えて、オンライン回答を選択した理由や次回以降の利用希望について下記の設問を今後の評価のために追加した。

・追加設問「今回、従来型の紙によるアンケートではなくインターネットでの回答を選択された理由は何でしょうか（複数選択可）。」

簡単だから 郵送の手間が省けるから インターネットでの回答に興味があったから  
その他（                      ） わからない

・追加設問「来年以降もインターネットで回答したいですか？」

はい いいえ わからない その他（                      ）

また、紙調査票には回答者の氏名、電話番号、転居時の転居先住所など個人を特定できる項目があるが、オンライン調査用アンケートシステムからのデータ流出時の個人情報保護の観点から、これらの項目を削除した。一方、紙調査票には下記の質問を追加した（図4）。

以上の調査の方法やシステム、内容の変更点等を含め、修正した研究計画書を滋賀医科大学倫理審査委員会に諮り、8月に承認を得た。

図 4

\*\*\*\*\*  
 今後の追跡調査のあり方も検討しています。別紙の説明文書をご確認の上、内容にご同意いただける場合は、以下の□にチェック(✓)を入れ、質問[7]にご回答ください。  
 \*\*\*\*\*

同意する

\*\*\*\*\*

【7】今回、インターネット回答でなく従来型の紙による回答を選択された理由にしろし(✓)をつけて下さい(複数選択可)。

インターネット回答の対象外だから  
 従来の方法に慣れているから  
 インターネットで回答するのが面倒・苦手だから  
 スマートフォン、パソコンなどを持っていないから  
 インターネットで回答しようと試みたができなかったから  
 情報漏洩が心配だから  
 その他 ( )

(4) 調査の実施

1 1月の追跡調査開始に合わせて、オンライン調査用アンケートシステムへの入力も可能とし、1月末まで紙調査票とオンライン調査とのハイブリッド形式で追跡調査を継続した。

【結果 (1月16日時点)】

(1) 2022年度ハイブリッド追跡調査における全体および年齢階級別の回収率

(=回収数/対象者数)

表 1

年齢	対象者数	回収数	回収率 (%)
30-39	78	53	68
40-49	233	191	82
50-59	278	234	84
60-69	368	321	87
70-79	576	504	88
80-89	457	388	85
90-99	112	82	73
100-	4	4	100
計	2106	1777	84

表2 ※参考：昨年度（2021年度）追跡調査の調査票回収率

（電話聞き取り調査分は除く）

年齢	対象者数	回収数	回収率（%）
30-39	93	66	71
40-49	261	217	83
50-59	277	236	85
60-69	385	340	88
70-79	609	529	87
80-89	451	336	75
90-99	106	76	72
100-	2	2	100
計	2184	1777	88

（2）年齢階級別のオンライン回収率

（＝オンライン回収数/回収数）

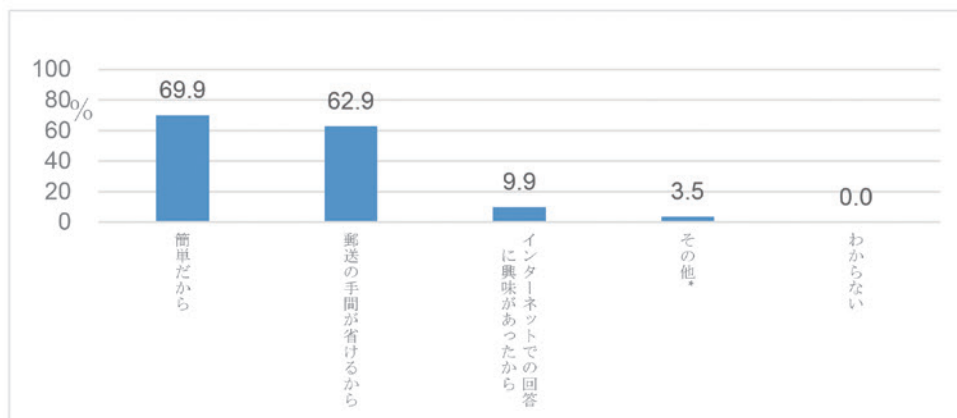
表3

年齢	回収数	オンライン回収数	オンライン回収率（%）
30-39	53	22	42
40-49	191	87	46
50-59	234	81	35
60-69	321	75	23
70-79	504	58	12
80-89	388	11	3
90-99	82	6	7
100-	4	1	25
計	1777	341	19

### (3) オンライン調査を選んだ理由

オンライン調査で追加した設問「今回、従来型の紙によるアンケートではなくインターネットでの回答を選択された理由は何でしょうか（複数選択可）。」の回答結果を示した。

図5



#### 【考察】

2022年度追跡調査でのオンライン回収率は、年齢が上がるにつれ低下し、60歳代以下では約33%であったが、70歳代以上では約8%と大きく低下し、高齢者におけるインターネットや関連IT機器へのアクセシビリティの低さの影響が考えられた。ただ、調査全体、および、各年齢階級の調査票回収率は、2023年1月時点において、昨年度の紙調査票の場合（電話聞き取り調査は除く）と大きな差はなく、今回のオンライン調査実施は回収率に対して好影響・悪影響のいずれも与えていなかった。また、オンライン調査を選んだ理由として、60～70%が「簡単だから」「郵送の手間が省けるから」と回答し、その他の回答欄でも「調査の経費・労力の削減」や「回答の随時性」について記載が多く見られた。以上より、毎年調査に協力している方が、オンライン調査の利便性により、紙調査からオンライン調査に移行した可能性が考えられた。

#### 【まとめ】

今年度の研究により、学術調査においても、情報セキュリティを保持しながら、従来の紙調査票とオンライン調査を併用するハイブリッド形式の調査が実施可能であること示し、その実施ノウハウを獲得した。今後、オンライン調査の場合の事務局の労力、費用対効果をはじめとしたメリット・デメリットや問題点を評価し、来年度の追跡調査におけるオンライン調査の可否について、検討する予定である。

[NIPPON DATA↑](#) | [研究組織](#) | [健康教育のための資料集](#) | [発表論文](#) | [NIPPON DATA 80/90](#) | [NIPPON DATA 2010](#) | [サイトマップ](#)



# NIPPON DATA↑

国民健康・栄養調査と同時に行われた厚生労働省の指定研究です

[NIPPON DATA2010 追跡調査のお願い](#)

[インターネット回答はこちら](#)

[インターネット回答についてのご説明はこちら](#)

**循環器病の予防に関する調査 ニッポンデータとは**

国が全国で実施した循環器疾患基礎調査および国民健康・栄養調査の参加者を対象に追跡調査を実施しています。追跡開始年が1980年であるNIPPON DATA80、1990年であるNIPPON DATA90、および2010年であるNIPPON DATA2010の3つのコホートがあります。

本研究は、日本人の健康寿命や生活習慣病に影響を与える要因を明らかにすることを目的としています。

アンケートにご協力ください。

## 厚生労働省指定研究 ニッポンデータ研究班 ニッポンデータ2010（循環器病の予防に関する調査）

### 回答にあたっての留意事項

- ・本アンケートの回答にはパスワードが必要です。
- ・全部で8問、所要時間は5分程度です。
- ・ブラウザの「戻る」ボタンは使用できません。

### 回答締め切り

2023年1月31日（火）

[アンケートに答える ▶](#)

（動作確認用URLに遷移設定中）

### 利用環境について

正確にアンケートのデータを送信いただくために、下記のバージョンを推奨しております。

- Google Chrome最新
- Microsoft Edge最新

お使いのブラウザの種類やバージョンにより、正確に表示がされない場合がございます。

※もし、アンケートにアクセスできない場合、ブラウザを変えてお試しください。

- ・アンケートに回答していただくため、JavaScriptを有効にしてください。
- また、SSL（データを暗号化する通信方法）による通信が必要になりますのでSSLに対応した最新のブラウザをご利用ください。これによりサーバーにて回答いただいた情報が保護され外部に出ることはありません。

※ブラウザをインストールした初期設定の状態では、いずれも基本的に有効になっています。

### アンケートシステムについて

このアンケートは、NTTコム オンライン・マーケティング・ソリューション株式会社が提供する「NTTコム リサーチ」のアンケートシステムを利用しています。

「NTTコム オンライン・マーケティング・ソリューション プライバシーポリシー」は[こちら](#)

当社は「プライバシーマーク」使用許諾事業者として認定されています。



### 【担当者と連絡先（相談窓口）】

ニッポンデータ2010中央事務局  
〒520-2192滋賀県大津市瀬田月輪町  
国立大学法人滋賀医科大学NCD疫学研究センター  
（滋賀医科大学 社会医学講座公衆衛生学部門）

TEL : 077-548-3659（電話受付時間 平日午前10時から午後5時まで）

FAX : 077-543-4800

E-mail : [nd2010jm@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:nd2010jm@belle.shiga-med.ac.jp)

ホームページ : <https://shiga-publichealth.jp/nippon-data/>